

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： R4年 2月 22日

事業所名：くろーばー

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動スペースと学習スペースと確保出来ている	はい93%、わからない7%、児童の部屋が少し狭い様な気がします	児童スペースを広くするため、おもちゃを倉庫に収納し使用する時のみ出し入れを行う様にした
	2 職員の適切な配置	適切に配置している	はい93%、わからない7%	今後も継続していく
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	トイレは車椅子のまま入れるスペースがある。下駄箱や荷物入れにそれぞれ名札を貼り、自分の靴や荷物をどこに置くか、本人に分かりやすくしている	はい84%、わからない16%	今後も状況に応じて対応する
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	施設内、送迎車両内を毎日掃除、消毒を行っている。換気も常時行っている、感染予防で飛沫感染防止アクリル板を活用し、安全に過ごせるようにしている	はい90%、どちらともいえない5%、わからない5%、感染予防対策をしっかりとっていると思う	今後も継続していく
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1度の職員会議や日々の朝礼時に問題点、改善点を話し合い業務改善を行っている		今後も継続していく
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない		検討していく
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	オンライン研修に参加、感染予防対策を行い、少人数での研修を行った		今後も継続していく
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	適切に作成している。本人、保護者の思いを支援出来る様に計画に組み込んでいる		
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	適切に作成している。月間予定に個別活動と集団活動が出来るようにプログラムを計画している	はい90%、これから先いろんな問題が出て来ても相談したいです。わからない5%、本人に直して欲しいところがなかなか直らないのでいろいろして下さってる事が合っているのかわからない。どちらともいえない5%	今後も本人の課題に合わせた支援計画を作成していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
提供	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	1人1人の課題に合わせて、視覚支援や絵カード等を活用し具体的に支援出来る様にしている		
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員間で支援会議を行い、一人一人の特性を把握し適切に支援出来る様にしている	はい95%、どちらともいえない5%、トイレトレーニングで失敗することがある	排泄介助の時間を決めているが、職員同士の声掛けをもっと密に行っていく
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	児童発達支援員が中心となり、季節行事やイベントを組み込み、職員全員で月間スケジュールを決めている		今後も継続していきます
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は短時間でも学習スペースと活動スペースを活用した支援を行い、土曜日や長期休暇時は個別支援やイベントを行い集団活動が出来る様にしている	はい100%、いつもありがとうございます。ブログで子供の様子を見るのが楽しみです	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	子供達や職員も楽しめるような季節行事やイベントを開催している		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	徹底している。その日のプログラム内容で職員の役割を決めている		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援記録を職員が確認し情報共有している		今後も継続していく
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	経過記録、支援日報を記録している。支援会議にて支援の内容を確認している		今後も継続していき、改善すべき事柄が出てきた際は改善する

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に1回保護者面談時に計画の見直しをしている		今後も継続していく
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	サービス担当者会議へは児童発達支援管理責任者が出席している	今後も連携をとりより良い支援が行えるようにしていきます
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	医療的ケアが必要時には看護師が対応している、必要時に関係機関と連絡をしている	緊急時には親御さんの指示を仰ぎ必要な対応を行う
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	医療的ケアが必要時には看護師が対応している、必要時に関係機関と連絡している	緊急時には親御さんの指示を仰ぎ必要な対応を行う
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援専門員さんや学校へ情報を共有している	今後も連携をとりより良い支援が行えるようにしていきます
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	相談支援専門員さんや事業所へ情報を共有している	今後も連携をとりより良い支援が行えるようにしていきます
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	電話にて情報交換した。研修は受講予定だったがコロナ感染予防の為中止になった	今後も継続していく
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ感染予防の為、交流の機会がありませんでした	どちらともいえない20%、いいえ50%、わからない30%、コロナが落ち着いたらコロナ感染の様子をみて検討するにしてほしいです

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	感染予防の為実施していません	いいえ70%、わからない30%、コロナが落ち着いてからにしてほしいです	コロナ感染の様子をみて検討する
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学、契約時に重要事項説明をおこなっている、説明時に質問等無いか確認をとっている	はい100%	今後も継続していく
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	保護者面談時に相談して決めた支援内容を書面にて後日書面にて確認して頂いている	はい100%	今後も継続していく
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ご本人の行動や表情、具体的な取り組み方や声掛け等保護者へ情報提供を行い、ご家庭でも出来るようなご本人との関わり方を実践していただいている	はい60%、どちらともいえない30%、いいえ5%、わからない5%、パニックになった時の対応の仕方を教えてもらって助かりました	今後も継続していく
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	日々の連絡帳や送迎時に情報共有している	はい90%、どちらともいえない5%、わからない5%、本人の事で聞きたいことがある時は電話で聞いている、送迎時にもきちんと伝えてくれている	今後も継続していく
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	常に相談していただけるような体制を整えている、面談時に確認し助言を行っている	はい95%、どちらともいえない5%、	今後も継続していく
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	コロナ感染予防の為、開催の機会がありませんでした	いいえ70%、わからない30%、保護者会があったのか知らない	コロナ感染の様子をみて、保護者同士が交流できる場を提供したい
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	相談窓口を設置、重要事項説明書へ記載している。苦情に対しては電話、連絡帳にて対応している	はい80%、分からない20%、苦情はありません。聞きたいことは電話で聞いています	今後も継続していく
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	主に連絡帳でお伝えしていますが、必要時には電話にてお伝えしている	はい70%、わからない5%、無回答25%、	今後も継続していく

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	日々の子供達の様子をブログにて情報を発信している、月1回の通信に行事予定を発行している	はい100%、ブログで子供の様子を見れるので安心です	今後も継続していく
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報ファイルは鍵付き書庫に保管、ブログの写真掲載については事前に保護者へ確認し配慮している	はい95%、無回答5%、	今後も継続していく
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時、災害時、感染予防マニュアル等は策定し事業所内に閲覧できる場所に保管している。保護者へ契約時に説明している	はい85%、わからない15%、	今後も継続していく
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難訓練を定期的に行っている	はい80%、分からない20%、	今後も継続していく
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止研修を定期的に行っている		今後も継続していく
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	事例はありませんが、安全確保に必要な場合は保護者へ了解を得る		今後も継続していく
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時にアレルギーの有無を確認し、保護者の指示に基づき対応しています。		今後も継続していく

区分		チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員会議にて情報を共有し、改善点、注意点を話し合い決まった内容を記録に残しています		今後も継続していく